

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 24 年 12 月 20 日 (木) (13:30~14:30)		
実施場所	ふらっとステーション	参加人数	25 人
参加対象	十日町中心市街地老人クラブのみなさん		
市側の出席者	市長 観光交流課主事、農林課主任		
懇談内容	<p><b>1. 発言者</b></p> <p>・キナーレの芸術作品(クリスチャン・ボルタンスキー)について、非常に衣類が臭うという話を聞いた。実際のところどうだったのか。また、芸術祭終了後衣類は捨てたのか。</p> <p><b>A. 市長</b></p> <p>・キナーレを訪れた人から臭いという声があった。衣類については会期後に焼却した。あの作品は、衣服だけをじっと見ているだけでは創造力がわからないが、衣服が吊り上げられるクレーンの動きなどを見ているといろいろなことをイメージすることができる作品。臭いに関しては公害となれば問題だが、臭いの数値を測定したところ非常に低く、公害となるような数値ではなかった。そういったところでご理解をいただければと思う。</p> <p><b>2. 発言者</b></p> <p>・若者の雇用について、景気が悪く十日町に若者の職がないため帰ってくるできない。大変深刻であるが実情はどうなのか。</p> <p><b>A. 市長</b></p> <p>・今仕事がないと言われているが、徐々に仕事は増えているが、求職者とのミスマッチもあるようだ。これから市内でいくつか工場の増設がある。外から大きな工場が来るというのはなかなか難しいが、十日町市に投資をしてくれるなど情熱を注ぐ人を支援できるようにがんばっていく。</p> <p><b>3. 発言者</b></p> <p>・十日町市にも立派な人がいる。よその県に売れるような商品を考える人はいないか。また十日町市で作られる商品の特許を取得するなどの方法はないのか。</p> <p><b>A. 市長</b></p> <p>・市内には、全国に誇れる事業所がある。ただ、十日町市を見ると建物が</p>		

	<p>古く、これは投資がだんだん減ってきたということだと思う。だから事業家の方からもっと投資をしてもらえるよう、我々も支援していかなければいけないと思う。</p>
--	---